



# くろしお



高さ6~7メートルもある  
防波堤からダイビング!  
町内の小学生が、海に、川に。  
真夏の鈴土地区を満喫しました。  
(関連記事5ページ)



## 9月号の主な内容

- P. 2 まちのできごと
- P. 6 健康カレンダー
- P. 7 健康知恵袋
- P. 8 介護保険ガイド
- P. 9 みんなで支える国保会計
- P. 10 備えて安心51
- P. 13 相談・募集・お知らせ
- P. 17 教育委員会だより
- P. 20 くろしおっ子を紹介しますほか

## あがまちデータ

●人口	13,176人	前月比(14人減)	
		【男6,191人 女6,985人】	
●世帯数	5,775世帯		
●15歳未満の年少人口	1,293人(比率9.8%)		
	【男666人 女627人】		
●65歳以上の高齢人口	4,546人(比率34.5%)		
	【男1,791人 女2,755人】		
●人口のうごき			
増加 27人	出生5人	転入21人	職権1人
	【男3人 女2人】	【男11人 女10人】	【男1人】
減少 41人	死亡20人	転出21人	
	【男12人 女8人】	【男16人 女5人】	

(2010(平成22)年7月31日現在)



発行/黒潮町役場

〒789-1992 高知県幡多郡黒潮町入野2019番地1 (2010(平成22)年9月1日発行 印刷/(有)宿毛印刷)  
TEL 0880-43-2111(代表) FAX 0880-43-2788  
HPアドレス <http://www.town.kuroshio.lg.jp/> [✉ somu@town.kuroshio.lg.jp](mailto:somu@town.kuroshio.lg.jp)

**アメリカの高校生と交流会**

7月4日、大方高校の生徒が、黒潮町内でショートステイ中のアメリカの高校生と交流会を開きました。



国籍や言葉が違って同じ高校生。すぐに打ち解けていました。

「海外の同年代と交流できる貴重な体験を提供したかった」とショートステイ先の保護者や大方高校の教員らの提案により実現したもので、大方高校からは5人の生徒が参加。今取り組んでいる活動内容を英語で紹介したり、レクリエーションをしたりして交流を深めました。最初はお互いに恥じらいがあったものの、「好きな食べ物は何?」「世界一周するのが夢」など、英単語を確認しながらの会話が始め、あつという間の2時間。「まだまだ話したいことがたくさんあるのに」といった様子でした。

**南海地震が起ったら、どうしますか?**

入野小学校6年生は総合的な学習の時間を利用して、防災学習に取り組んでいます。



7月5日の授業では、これまで学習してきた内容の応用として、役場の防災担当職員を講師に、より実践的な学習をしました。

この日のテーマは「南海地震が起こったら、どうしますか?」。翌日6日の早朝6時、震度6強の揺れが100秒間続く地震が起こったと想定し、「地震が起きたとき」「揺れが収まってから避難場所に行くまで」「避難場所についてからの3つの場面に分け、予測される問題や自分たちがすべきことなどを出し合いました。

最初は見慣れない住宅地図に、自分の家を見つけて出す作業にさえ戸惑っていました。津波による浸水区域を書き込むにつれ、「10分でここまで来るがやったら、15分やったらどこまで来るが?」と徐々に現実的な話が聞こえてきます。



「ここには一人暮らしのおばあちゃんがおる」「ここは山が崩れそう。重要な情報が次々と書き込まれていきます。」

授業の最後には、班ごとにまとめた意見を発表し、自分たちが今できることなどを確認しました。

実際に地震が起こったら誰もがパニックになります。普段の生活の中で、避難場所や避難経路を意識し、どう行動すべきか事前に準備しておくことが必要です。また、授業で学習したことを家に持ち帰り、家族どうして話し合うことも被害を減らすことにつながります。

**粘土でランプ作りに挑戦**

「わくわくチャレンジ教室」

が8月3日、大方高校美術室にて開かれました。

これは、大方高校の活動を地域の方に知ってもらい、学校に来て学習してもらおうと、地域貢献活動の一貫として始めたもので、今回が1回目。

この日のテーマは「親子で焼きもの〜ランプをつくらう〜」。小学校2〜3年生、6組12人の親子が参加し、蒸し暑い教室で汗をかきながら粘土細工にチャレンジしました。

今後は、算数や体育などの教室も増やしていく予定とのこと。



「何を作ろうか」。親子で相談しながら粘土をこねる姿は、とても楽しそう。



3週間ほど乾燥させ、800度のかまどで8時間素焼きします。中に電池で光るランプを入れて完成です。

**「地域産品をいかしたものづくり」研修会開催**

「づくり」研修会開催

7月15日、一橋大学商学部教授の関満博先生を講師に招き、全国でものづくりに汗を流している経営者たちの紹介とそのヒントについてお話をしていたきました。

会場の健康福祉センター研修室には、近隣市町村から多くの方が参加し、先生のユーモアを交えた講義に熱心に耳を傾けていました。

八戸市で始まったB級グルメNo.1を競うイベント、「B1グランプリ」などを例に挙げ、全国各地でまちおこしのために活躍するグループの工夫や情熱には見習うべきものが多く、地方のまちでもやれるという可能性を感じさせてくれる内容でした。



「遊び感覚で、楽しくないとダメ」ということが印象に残りました。

# 限界の向こうへ進む!! 黒潮の夏

## 第17回 いごっそうアクアスロン大会開催!



7月25日、「第17回 いごっそうアクアスロン大会」が佐賀港周辺で開催されました。

連日記録的な猛暑が続く中、年齢などで分けた12部門に県内外から過去最高の189人が参加。照り返す夏の日差しにも負けず、泳いで走って限界の向こう側に挑みました。

最も長い一般の部のコースは、佐賀港湾に設置された一周750mのブイを2周回るスイム(水泳)が1.5km、黒潮スカイライン折り返しのラン(マラソン)が10kmと過酷なものとなっています。

当日の天候は快晴で、午前8時の気温はすでに29度。スタートの合図とともに「鉄人」たちは水しぶきを上げながら海へと突進! トップの選手は22分ほどで浜に上がり、「がんばれ!」の声援を背にランへと向かいます。

3人がリタイアしたものの、けが人や事故もなくレースは無事終了。審判長の大会総括では「女子の高橋選手をはじめ、有望な若い選手が育ってきている」と大会に寄せる期待を述べました。また、毎年恒例となっている表彰式後の「お楽しみ抽選会」では、し

めじセットやカツオのタタキなど、佐賀ならではの商品に会場は大盛り上がり。岸本実行委員長のマイクパフォーマンスも飛び出し、今大会も大成功のうちに幕を閉じました。

### 【ジュニア個人の部】

- 男子 ①中川晴貴 ②中田聖羅 ③生田翔一
- 女子 ①黒岩秋羽 ②岡本真由子 ③加藤友唯

### 【中学生個人の部】

- 男子 ①島内元希 ②井上裕哉 ③今西樹理矢
- 女子 ①五井春香 ②徐亜斗香

### 【一般の部・初カッソ】

- 男子 ①九町俊吾 ②山下泰史 ③谷川延久
- 女子 ①高橋世奈 ②嶋夏菜子 ③森岡瑛美

### 【一般の部・こぎカッソ】

- 男子 ①西川浩司 ②三好英昭 ③増田久人
- 女子 ①石川清美 ②中村あゆ子 ③正宗沙和子

### 【一般の部・もどりカッソ】

- 男子 ①高橋仁 ②古橋秀之 ③朝倉壽信
- 女子 ①松本孝子 ②堀川美香 ③千田明美

### 【一般団体リレーの部】

- ①堀川・植村 ②さくらAC ③黒潮TC

- 【県民スポーツフェスティバルの部】
- ①筒井洋一 ②地引光二 ③有澤記朗 ④沖 勇一 ⑤竹崎 弘 ⑥川崎 誠

### 第17回 いごっそうアクアスロン大会について(お礼)

7月25日に過去最多となる189名の参加者をお迎えして、第17回 いごっそうアクアスロン大会を盛大に開催いたしました。

大会当日は、日差しも強く真夏日となりましたが、事故もなく無事に終了することができました。

これも、暑い中ボランティアでスタッフとして協力してくださった皆様のおかげです。本当にありがとうございました。

紙面をお借りしてお礼申し上げます。



いごっそうアクアスロン大会  
実行委員会

実行委員長 岸本 四郎

地域の絆のために

「地元のお年寄りが喜んでくれたのがうれしい。少しでも地域に貢献できたと思う」。そう話すのは、芝部落の壮青年部副部長、板山裕一さん。7月18日に行われた賀茂神社の夏祭りで、ちよつとしたイベントを企画しました。

祭りでは例年、早咲、浜の宮、万行、入野本村、芝の5部落が1年交代で神輿を担いでおり、今年は芝部落の番。

通常は境内の周囲を回るだけですが「今年法被を新調したし、地元のお年寄りにも見せてあげたい」と特別に許可を取り、芝集会所まで神輿を担ぎました。神輿が集落まで入ってくるのはとても珍しく、約30年ぶりの事。午前9時すぎ、神輿をひと目見ようと見物客が集まり始め、中には手を合わせて拝むおばあちゃん姿も。最後は神輿をバツクに記念撮影が行われ、地元の皆さんはたいへん喜んでいく様子でした。

中心となった壮青年部は、地区の20代から50代までの青年らが5年ほど前に結成した集まりで、花見や草刈などの部落行事に参加するなどして

活動しています。

「近所に住んでいても顔を合わせる機会がない。人とのつながりを大切にしたい」と結成のきっかけを話してくれました。「大それたことは考えていないけど、地域の助け合いや絆につながれば」。板山さんの話からは、地元愛だけでなく強い責任感も伝わってきます。



少子高齢化が進む今日、集落維持や伝統継承のため、若者を中心とした活動は今後ますます重要となってきます。



商工会女性部の活動

黒潮町商工会女性部では、毎月第1土曜日に入野松原の清掃をしています。「まちのために、何か私たちにできることをやろう」と2年ほど前から始めた活動です。

朝8時、日よけ対策をした部員たちがふるさと総合センター前に集合。ごみ袋を片手を通り大方球場の辺りまで約1時間かけ、ごみ袋6枚分のごみを拾いました。

女性部ではこの他にも、商工会館で太極拳教室を開いたり、JR土佐賀駅横の「なぶら公園」に花を植えたりと活発に活動しています。



ごみは空き缶やペットボトル、たばこの吸殻などがほとんど。モラルを守って私たちのまをきれいにしましょう！



あつまれ魂拓人

今年で9回目となる「あつまれ魂拓人」が8月7日、カッオふれあいセンター一番館で開かれました。

これは、人権問題をテーマに活動する住民グループ「魂拓人」が、「地区外の人が中心となって、部落差別をはじめとするあらゆる差別をなくし、人を大切にすまことにしていこう」という願いのもとに始めたお祭りで、毎回、人権ソングライター森秀一さんのライブや人権クイズ、女相撲などの催しに多くの方が集まっています。

人権クイズでは、部落問題をはじめ、子どもや高齢者、障がい者などに関する問題が出され、訪れた方はお祭りの雰囲気を楽しみながらも、真剣な表情で考え込んでいました。



決勝問題にはかなり難しい問題も。正解すると客席からは歓声があがっていました。

この日だけの特別企画

毎月第2日曜日にネストウエストガーデン土佐駐車場が開かれている「海辺の日曜日」が8月7日、この日だけの特別企画「夕焼け市」として、夕方5時からスタート。涼しくなった頃から徐々に人が集まり始め、いつもと違った日曜市を楽しみました。

辺りが薄暗くなると、高知大学の学生グループによって並べられたキャンドルに火が灯され、幻想的な雰囲気。幡多で活躍中のスタイルパユニットのライブもますますヒートアップし、会場を沸かせていました。



スティールパン独特の音色が夕焼け空に響き渡りました！

## 第3回「子ども広場」 鈴地区で夏を満喫！



「子ども広場」は、町内の小学生を対象に、豊かな自然に触れ合うこと、学区を越えた交流でお互いの親睦を深め合うことを目的に、町青少年補導センター主催で行われる事業です。今年3回目となる「子ども広場」は8月10日、町内の小学生40人が参加し、海水浴や川遊びなどをして、鈴地区ならではの夏を存分に楽しみました。

対面式では、今回の受け入れ団体である「佐賀北部地域協議会」のメンバーで鈴区長の森田幸男さんが、「今日出会った新しい友達と仲良くし、鈴での一日を楽しく過ごして

ください」とあいさつ。さつそく6つの班に分かれ、午前のメニューが始まりました。

### クルージング



潮をかぶりながらも、みんな笑顔でピース。

1班から順に漁船に乗って、20分ほど行った先にある「ふうやの滝」を目指し出発。波がやや高く船酔いしてしまう子もいましたが、スピードが上がると「キャー。飛びそう！」と大はしゃぎ。

### 昼食の準備



この日のメニューは、カレーと野菜サラダです。

クルージングの順番が回って来るまで、他の班は昼食の準備。スタッフに習って、たっぷりの野菜を切りました。できあがったカレーを持って市場に移動。地元の方も飛び入り参加し、にぎやかな昼食会となりました。

### 川遊び・海水浴



午後からは、川遊びと海水浴の2グループに分かれて自由時間。少し水が冷たかったものの、防波堤からの飛び込みや川エビ捕りにみんな夢中です。

### スイカ割り



締めくくりのスイカ割りでは、なかなか割れない班もあり、「もっと右!もっと右!」と大盛り上がり。



最後にみんなが整列してお礼のあいさつ。「来年もおまた来たい」、「友達ができてとてもうれしい」と感想を話してくれました。



「これだけ子どもが集まると楽しい。子育てしていたころが懐かしいね」と鈴を出発したバスを見つめながら話してくれました。

一日を終えた森田区長は、

「来年は家族も連れてくる!」。高知市から来たグループは、日焼けした赤い顔で興奮ぎみに話してくれました。

## 「シーサイドギャラリー」

### 2010 夏「開催!」

夏の恒例イベント「シーサイドギャラリー2010夏」が8月15日、入野海岸一帯で行われ、町内外から訪れた多くの方が、盆踊りや花火を楽しみました。

第1部は、午後1時「砂浜投げキッス」からスタート。砂浜からの投げ釣りで、釣り上げたキスの大きさを競います。親子連れなど23組が参加し、22・1cmのキスを釣った田中伸幸さん(入野)が優勝しました。

また、来場者の注目を集めていたのは、ピンクの衣装に身を包んだフラダンスグループ「ルアナ」と楽しい仲間たち。夕焼け空をバックに優雅な踊りを披露してくれました。

会場が暗くなると、4チーム42人の踊り子による盆踊り大会。「大方音頭」や「新佐賀音頭」の音楽に合わせ、太鼓の力強い音が砂浜に響き渡ります。終盤には飛び入り参加も加わり、大人も子どもも飛んだり跳ねたり。激しい踊りにみんな汗だくです。

イベントのフィナーレには約500発の花火が打ち上げられ、あちらこちらから拍手や感嘆の声が。

## 大方地域

9月日(曜日)	内 容	実施場所	実施時間
16日(木)	胃がん検診	JA高知はた南部事業所	※8:00~9:00
17日(金)	胃がん検診	JA高知はた南部事業所	※8:00~9:00
22日(水)	健康相談 (ふれあいサロン)	有井川集会所	9:30~12:00
		芝集会所	10:00~12:00
	健康相談	大方橋川集会所	9:30~10:30
		御坊畑集会所	13:30~14:30
24日(金)	愛育相談	大方くじら保育所	9:30~11:00
27日(月)	健康相談 (ふれあいサロン)	浮津集落センター	9:30~12:00
		下田のロココミュニティセンター	9:30~12:00
28日(火)	愛育相談	大方中央保育所	9:30~11:00
30日(木)	健康相談(ふれあいサロン)	福堂公民館	9:30~12:00

10月日(曜日)	内 容	実施場所	実施時間
4日(月)	乳がん検診 (未受診者対象)	保健福祉センター	※9:00~11:00
			※13:30~15:00
6日(水)	健康相談(ふれあいサロン)	小川集落センター	10:00~12:00
7日(木)	健康相談(ふれあいサロン)	出口集会所	10:00~12:00
8日(金)	健康相談(ふれあいサロン)	鞭集会所	9:30~12:00
		奥湊川老人憩の家	13:30~14:30
14日(木)	子宮がん検診	蜷川健康支援センター	※10:00~10:20
		上川口消防分団屯所前	※11:00~11:20
		有井川集会所	※13:30~14:00

注) 表中の※印は、受付時間となります。

# 健康カレンダー

## バランスのとれた食生活を目指そう!

9月中旬から10月中旬までの健康に関する行事予定を表示しています。行事予定は変更となる場合もありますので、あらかじめご了承ください。

## 佐賀地域

10月日(曜日)	内 容	実施場所	実施時間
7日(木)	川奥ふれあいサロン 市野瀬健康相談	川奥集会所	9:30~11:00
		市野瀬集会所	13:30~14:30
8日(金)	佐賀ふれあいサロン	総合センター	10:00~15:00
18日(月)	横浜愛育健康相談	老人憩の家	9:30~11:00
22日(金)	上分ふれあいサロン	上分集会所	9:30~11:00



○お問い合わせ  
本庁 健康福祉課 保健衛生係  
☎43-2836(直通)  
佐賀支所 地域住民課 保健センター  
☎55-7373(直通)

## 当直医療機関一覧表

月	日	四万十市		宿毛市	
9月	5日(第1日曜日)	四万十市民病院	☎34-2126	奥谷整形外科	☎0880-63-1202
	12日(第2日曜日)	森下病院	☎34-2030	清谷医院	☎0880-63-2302
	19日(第3日曜日)	四万十市民病院	☎34-2126	大西内科胃腸科	☎0880-63-1267
	20日(敬老の日)	正木整形外科	☎34-5252	いなげ胃腸科内科	☎0880-62-1113
	23日(秋分の日)	佐々木整形外科	☎34-7177	大井田病院	☎0880-63-2101
	26日(第4日曜日)	こいけクリニック	☎35-5112	筒井病院	☎0880-66-0013
10月	5日(第1日曜日)	四万十市民病院	☎34-2126	幡多けんみん病院	☎0880-66-2222

※当直医は変更になる場合がありますので、あらかじめ確認してから受診してください。

健康知恵袋

40歳すぎたら大腸がん  
検診を受けましょう！

大腸って？

大腸は消化吸収された残りの内容物を腸のため、水分を吸収しながら大便にするところです。約2メートルの長さがあり、結腸・直腸・肛門からなります。

大腸がんとは？

大腸がんは、大腸粘膜の細胞から発生し、「ポリープ（腺腫Ⅱせんしゅ）」という良性の腫瘍の一部ががん化して発生したものと、正常粘膜から直接発生するものがあります。

粘膜炎の表面から発生し、大腸の壁に次第に深く侵入していきます、進行するにつれて、リンパ節や肝臓や肺などの臓器に転移します。

がん死亡原因として男性では第3位、女性では第1位となっています。また、大腸がんにかかる割合は、50歳代から増加し始め、高齢になるほど高くなります。

症状

大腸がんの症状は、血便、下血、下痢と便秘の繰り返し、便が細い、便が残る感じ、おなかが張る、腹痛、貧血、原因不明の体重減少などがあり、中でも最も頻度が高いのが、血便です。痔など良性疾患でも同じような症状があります。自己診断せず、早めに消化器科、胃腸科、肛門科などを受診することが大切です。

大腸がん検診

黒潮町では、便潜血検査を実施しています。（排便容器を配布し、配布から3日間のうちに2回排便し、その容器を提出していただいています。）

平成22年度は、大方地区において、10月19日から各地区で実施します。詳しい日時・場所については広報「健康カレンダー」などによりご確認ください。ご都合の良い場所で受けることも可能です。

※佐賀地区は、5〜6月に実施し、終了しています。

【対象者】（平成22年度）40歳以上

【料金】500円  
※70歳以上の方は無料です。

黒潮町の大腸がん検診受診状況

年度	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	
平成20年	男	3,908	561	14.4
	女	4,911	888	18.1
	計	8,819	1,449	16.4
平成21年	男	3,853	577	15.0
	女	4,909	898	18.3
	計	8,762	1,475	16.8

大腸がん検診により、症状が出る前に早期発見が可能になります。定期的に大腸がん検診を受診し、がん予防に努めましょう。

お問い合わせ

本庁 健康福祉課 保健衛生係  
☎ 43-2836(直通)  
佐賀支所 地域住民課 保健センター  
☎ 55-7373(直通)

高知大学医学部だより

【テーマ】 反復する中耳炎

鼻の奥には、耳管(じかん)という鼻と耳をつなぐ管があります。急性中耳炎は、鼻や鼻の奥の炎症が耳管を経由して、中耳に急性に感染がお

こる病気です。

最近、幼小児で急性中耳炎を短い期間で繰り返す『反復性中耳炎』が問題となっています。小児急性中耳炎ガイドライン2009年度版では、「半年の間に3回以上、1年の間に4回以上の急性中耳炎にかかるもの」としています。反復するだけでなく治りにくいため苦労する病気です。その原因については、いくつか挙げられています。

まず、抗生物質のききにくい耐性菌の出現です。急性中耳炎をおこす細菌の代表的なものは、鼻やのどの炎症の原因にもなる肺炎球菌とインフルエンザ菌です。これらの細菌の耐性菌が最近増えていきます。通常の薬剤では完全に除菌できず、炎症が残ること、短い期間に中耳炎を再発することになります。また、初めての中耳炎が2歳以下の場合、その後中耳炎を繰り返すことが多くなります。2歳ごろまでは感染に対する抵抗力が未熟なので、成長し抵抗力が備わるまで炎症を繰り返すこととなります。もうひとつ問題となっているのは、早期からの集団保育といわれています。

同じ年齢の子どもたちが密に接しているため、免疫力が未熟なうちに鼻やのどの感染にかかりやすく、耐性菌感染の機会も多くなります。そのほかの要因として、アレルギー体質のため鼻炎や喘息などで鼻やのどの炎症を反復する、さらに家族の喫煙により受動喫煙となり鼻やのどの粘膜を傷め炎症をおこしやすい、などが考えられています。

治療は、まずは、中耳炎の原因菌に効果のある抗生物質の使用です。先に述べた肺炎球菌やインフルエンザ菌の耐性菌に効果のある抗生物質も開発されており、効果が期待できます。鼻やのどの炎症などの治療も行います。鼓膜切開や鼓膜チューブ留置術も治療のひとつです。そのほか体調不良時の全身ケアや家族の禁煙など、ご家族ができることから対応されることも大切です。

【著者プロフィール】



高知大学医学部附属病院  
耳鼻咽喉科 助教授  
弘瀬 かほり



# 介護保険ガイド

● 介護保険広報シリーズ⑤③ ●  
住宅改修について

## ◆◆住宅改修費の支給について◆◆

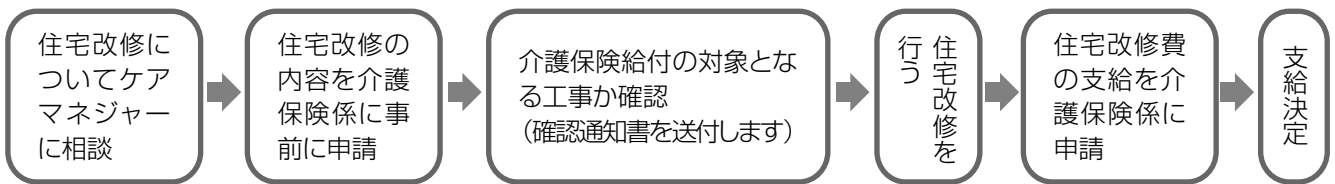
### ●住宅改修とは ～お家で暮らすためのお手伝い～

介護が必要な状態となっても、「できる限り住み慣れた家で暮らしたい」と願う方も多いと思います。住まいの環境を整備（住宅改修）することで、不便さ・不自由さが解消されると、今まで「できない」ことが「できる」ようになり、心身の状態が改善することもあります。住宅改修は要介護・要支援認定を受けられた方が自宅により自立した生活を送れるよう、手すりの取り付けや段差解消などの小規模な自宅の改修を行ったとき、1人当たり申請金額の20万円を上限に、改修費用の9割を支給するサービスです。

※20万円を超える工事の場合も、支給額が20万円の9割（18万円）で、残りは自己負担となります。また、改修費用は先に全額自己負担をしていただき、後から9割を支給します。

### ●住宅改修は『事前申請』が必要です

支給を受ける場合、住宅改修の工事をする前に理由書・見積書・見取り図・写真などの必要書類を添付して担当窓口へ申請し、改修内容の審査を受ける必要があります。



### ●住宅改修費の支給対象となる住宅改修

	<種類>	<内容の例>
①	手すりの取り付け	廊下、階段、便所、浴室、玄関などへの手すりの取り付け
②	段差の解消	廊下、便所などの各室間の床の段差の解消 玄関から道路までの通路などの段差の解消
③	すべり防止のための床や通路面の材料の変更	畳から板製床材・ビニル床材などへ変更 浴室をすべりにくい床材へ変更 通路をすべりにくい舗装材へ変更
④	引き戸などへの扉の取り替え	開き戸を引き戸・折れ戸・アコーディオンカーテンなどに取り替え 引き戸などの新設（扉位置の変更などに比べ、費用が低く抑えられる場合のみ） ドアノブの変更など
⑤	洋式便座などへの便器の取り	和式便器を洋式便器などへ取り替え
⑥	その他①から⑤の改修に伴って必要となる工事	手すり取り付けのための壁の下地補強 便器の取り替えに伴う給排水設備工事（水洗化に係る工事は除く）など

※上記以外の住宅改修や建て替え、新築、増築などは対象外です。改修できる住宅は、介護保険証の住所地に限ります。

介護保険料は大切な財源です。納付期限までにお納めを ～安心で便利な口座振替を！～

【お問い合わせ】 本庁 健康福祉課 介護保険係 ☎43-2116(直通)



# みんなでささえる 国保会計



## 医療費が高額になった時

### 認定証を活用していますか

病院などで診察や治療を受けた場合、病院の会計ではかかった費用の内、自己負担分を払っています。今回は、自己負担分について説明します。

#### 知っていますか④



自己負担割合

#### 年齢によって、異なります

自己負担割合は、年齢によって異なっています。

- ・義務教育就学前の方：かかった費用の2割
- ・義務教育就学から69歳以下の方：かかった費用の3割
- ・70歳以上74歳以下の方：かかった費用の1割

※所得により、3割の方もいます。

#### 知っていますか⑤



限度額適用認定証

#### 医療費が高額になった時、必要です

入院などで1カ月の自己負担額が高額になることがあります。その時には「限度額適用認定証」を使うと自己負担額が一定の額で止まります。

##### 69歳以下の方

住民税のかかっていない世帯	35,400円
住民税のかかっている世帯	約80,000円
所得の多い世帯	約150,000円



標準負担額減額認定証

##### 70歳以上74歳以下の方

	外来	外来+入院
住民税のかかっていない世帯	8,000円	15,000円 24,600円
住民税のかかっている世帯	12,000円	44,400円
所得の多い人	44,400円	約80,000円

※住民税がかかっていない世帯については、入院中の食事代が安くなります。国保係に申請をし、交付を受けてください。

※差額ベット料、食事費用は除きます。

#### 知って得する豆知識

##### くすり代の通知を開始

黒潮町では、8月から病院などでくすりを処方された方に通知書を送付しています。正式名は、「ジェネリック医薬品使用促進通知」といいます。ジェネリック医薬品とは後発医薬品の意味で、効き目はほぼ同じで値段は約半分です。

「ジェネリック医薬品」の促進にご理解ください。

#### ほっとコーナー

##### 保険切替え手続き中

国保に加入していた方が仕事に就き、社会保険に加入しました。しかし、実際には「保険証」がまだできていないことがあります。

こういった場合に病院に行き受診したい時は、病院の受付で「現在、切り替え手続き中」であることを説明し、会社に電話確認をしてもらってください。※事前に会社の事務の方に相談しておくとうれしいです。

○お問い合わせ 本庁 健康福祉課 国保係 ☎43-2116(直通)

備えて安心 51  
 南海地震を想定した  
 災害への備え

黒潮町消防協議会が  
 山口県豪雨災害視察  
 研修に行きました

黒潮町消防団、黒潮消防署及び黒潮町で構成する黒潮町消防協議会の11名が、7月8日から9日にかけて、昨年山口県の南部を中心として発生した豪雨災害の被災地である山口県防府市へ視察研修に行きました。シーズンを迎えている風水害対策の参考とするため、視察研修の報告をします。



現在も災害の爪痕が残る被災現場

山口県豪雨の被害の概況

山口県中南部に位置する防府市は、昔から雨が少なく晴れる日が多い地域でしたが、平成21年7月21日、2日前から梅雨前線の停滞により降り続いていた雨が、明け方から猛烈な雨となり、最も多い時で1時間に70mmを記録しました。この豪雨は24時間で257mmという凄まじさで、防府市では各地で大規模な災害が発生し、多数の家屋が滅失または浸水し、一部の道路や堤防が損壊しました。

特に、防府市真尾地区の特別養護老人ホームでは大規模な土石流が発生し、多数の入所者が死傷したほか、別の地区で救助に向かった消防隊員が大規模な鉄砲水に流される二次災害も発生しています。

報告書から(抜粋・編集しています)

防府市消防本部の対応について、この豪雨災害に関する当日の119番通報は307件ののぼり、全職員を招集して対応に当たるも、119番通報要請が飽和状態となり消防署の対策本部

が機能不全となってしまったため、市との連携も上手くいかなかったようです。消防団の災害対応として、被害状況の調査や土のう作成、避難誘導などを行い、必死の災害対応をしてきたことが伺えました。しかし、特別養護老人ホームの調査に行った消防団にトランシーバーしかなかったことや携帯電話が不通であったこと、現場の悲惨な状況に圧倒された団員が救出作業に没頭してしまったことにより現場の情報は消防本部に入ってこなかったそうです。そのため本格的な救助・捜索は1時間以上遅れてしまったようです。

防府市消防本部では、この豪雨災害での教訓として、**①現場における安全管理** 災害現場の隊員は活動に集中して周りの注視が難しいため、警戒をする人員を配置することが必要。

**②関係機関の情報共有** 消防署員や消防団員など、実際に見た現場の状況を災害対策本部へ情報として送ることが、避難勧告などの判断基準や早めの

対応につながる。**③避難勧告等の具体化** 避難区域の選定をし、住民への情報伝達方法や避難場所の選定、避難生活をするための備蓄品など、災害対策マニュアルなどを作成しその検証が必要。

**④避難生活の対応** 避難生活が始まると不安と心配、ストレスに対する対応が必要。**⑤自主防災組織の育成** 災害が広範囲で発生すると消防・行政のみでの対応は困難になり、各地域に立ち上げた自主防災組織の機能を高めることが重要。

黒潮町では、近年大きな風水害は発生していませんが、防府市の教訓はとも参考となるものでした。黒潮町消防協議会では、今回の研修で得たことを風水害や近い将来必ず来る南海地震の備えに生かすため、身近な助け合いや、自主防災組織の重要性を確認し、関係機関が協力しあって更なる取組みを進めて行きたいと思えます。

黒潮町では、近年大きな風水害は発生していませんが、防府市の教訓はとも参考となるものでした。黒潮町消防協議会では、今回の研修で得たことを風水害や近い将来必ず来る南海地震の備えに生かすため、身近な助け合いや、自主防災組織の重要性を確認し、関係機関が協力しあって更なる取組みを進めて行きたいと思えます。

消防団員募集!!

地域に密着している消防団は、地域防災の要として災害から人命と財産を守り続けてきた歴史があり、深い信頼を得ています。あなたも消防団員の一員となり、「自分たちの地域は自分たちで守る」ための活動をしませんか？

○ご相談・ご連絡は

最寄りの消防分団、黒潮町役場総務課消防防災係 (☎43-2112)、佐賀支所地域住民課総合窓口第1係 (☎55-3113) までご相談・ご連絡ください。



●このページの記事に関するお問い合わせは、以下をお願いします。

【本庁】総務課 消防防災係 ☎43-2112(直通) 【佐賀支所】地域住民課 総合窓口第1係 ☎55-3113(直通)

**平成22年国勢調査の実施に向けて（調査票の記入と提出方法について）**

今年度は5年に1回の「平成22年国勢調査」の年となっています。

平成22年10月1日を基準日に実施します。国勢調査は我が国に住んでいるすべての人を対象に年齢や就労状況、世帯構成などを調査させていただきます。最も基本的で重要な統計調査です。

今回の広報では、調査票の記入についてと、記入いただきました調査票の提出方法についてお知らせします。

**調査票の記入について**

調査票は9月23日から30日にかけて各世帯に調査員を通じて配布されます。調査票といっしょに「調査票の記入のしかた」をお配りします。それにしたがって調査票を記入してください。なお調査票の記入にあたっては、黒色のえんぴつかシャープペンシルを使ってください。マークシートでの回答は、はみ出さずしっかりとぬりつぶしてください。数字を記入するところでは、

数字を記入するところでは、

調査票表面の右上に数字の見本がありますので、それを参考に記入してください。数字や文字を記入するときは、回答の枠をはみ出さないように記入してください。

文字が読みづらい方には「拡大文字調査票」、外国語しか分からない方には「調査票対訳集」、視覚障害のある方には「点字での調査票をご希望の方には「点字調査票」があります。必要な世帯の方は担当調査員か、役場までご連絡ください。

記入のしかたでわからないことがございましたら、担当調査員が10月1日から7日にかけて、調査票の記入状況と提出確認などのためにお伺いします。そのときにでも調査員にお尋ねください。また記入が困難な世帯につきましては、調査員に依頼していただくか、調査員からの提案として、口頭での聞き取り調査も可能です。

**調査票の提出方法について**

今回の国勢調査から、個人情報やプライバシーの保護ということで、調査票はすべて「封入提出」となり、調査員

は調査票の内容を見て知ることとはできません。（記入が困難な世帯では、調査員が聞き取りして調査票へ転記することもあります。）

封入提出については、つぎのいずれかとなります。

**①「調査書類収納封筒」による調査員の直接回収**

調査票といっしょに全世帯へ「調査書類収納封筒」をお配りします。ご記入いただきました調査票をこの封筒に入れて封を閉じ（簡単にのり付けできるようになっています）、10月1日から7日にかけて調査員がお伺いしたときにお渡しください。

調査員はお預かりした「調査書類収納封筒」を開けてはいけません。決まりになっていないこととなく役場へ提出することとなります。

**②「郵送提出用封筒」による郵便提出**

調査票といっしょに全世帯へ「郵送提出用封筒」をお配りします。ご記入いただきました調査票をこの封筒に入れて封を閉じ（簡単にのり付けできるようになっています）、

お近くの郵便ポストへ投函するか、郵便局の窓口へお渡しください。送料は国の負担です。切手を貼らずにお出しください。

調査票の記入については「調査票の記入のしかた」をよくお読みいただき、きれいに書きもらしがないようお願いいたします。

提出については、調査員による回収か、郵送による提出かどちらかをご都合に合わせてお選びください。

また、8月30日から順次、調査員説明会を開催しています。説明会を受けた調査員は担当する調査区の確認とお知らせのパンフレットを配るため、調査区内を回ります。また調査票をお配りしたり、提出状況の確認などで直接、訪問させていただきます。

調査区内を回るとき調査員は「調査員証」と「国勢調査統計従事者用腕章」を身につけていますので、ご確認ください。

訪問をうけたときには、お仕事やおくつろぎ中に申し訳ありませんが、積極的なご協力をお願いします。提出までの流れについての

広報は今回が最後となります。ほか特にご注意いただくことは、プリントにして調査票といっしょにお配りします。こちらも必ずお読みいただくようお願いいたします。

みなさまのご理解とご協力をよろしく願います。

— 国勢調査は みんなで描く 日本 の 自画像 —

○お問い合わせ

本庁 総務課 企画振興係  
☎ 43-2177 (直通)

2010 **国勢調査**  
平成22年10月1日



つながりと感動を！  
横浜地区人権・同和教育  
学習会のご案内

差別のない明るい地域社会と人権文化豊かなまちづくりを目指し、「2010年度横浜地区・同和教育学習会」を、多様な講師を招き次のおり開催します。

◆第1回

【日時】

9月10日(金)午後7時30分

【場所】佐賀町民館

【内容】講演

「絆〜過去から未来へ贈り物〜」

【講師】石田裕之さん

◆第2回

【日時】

10月6日(水)午後7時30分

【場所】黒潮町総合センター

【内容】沖縄音楽

「風と大地と鳥を唄う」

〜沖縄から平和を願って〜

【歌手】南ぬ風人まーちゃんうーぽー

◆第3回

【日時】

11月17日(水)午後7時

【場所】佐賀町民館

【内容】講演

「あーよかったな あなたがいて〜「優しさ」という

温かい貯金〜」

【講師】仲島正教さん

○お問い合わせ

佐賀町民館

☎55-2108(直通)

もつと暮らしにもつと古里に！  
「2010年度ユースマン遊学」  
受講生募集

今年度は、空前の龍馬ブームを背景に、沸騰の様相を呈している土佐の文化や貴重な方言を中心に、伝えることの大切さを学ぶ講座を計画しています。

時代の変化と国際化が進んでいく中、私たちの暮らしの源泉を見つめ直してみませんか？

あなたもちくとばあ、土佐弁の達人になってつかあさい。

◆第1講座

【日時】

9月2日(木)午後7時30分

【内容】土佐弁の今昔

◆第2講座

【日時】

9月27日(月)午後7時30分

【内容】土佐弁を英語で表現

◆第3講座

【日時】

11月5日(金)午後7時30分

【内容】簡単な手話を学ぼう

◆第4講座

【日時】

12月4日(土)予定

【内容】現地研修(障がい者授産施設、牧野植物園を予定)

◆第5講座

【日時】

平成23年1月30日(日)予定

【内容】心を磨こう(解放まつりへ参加)

◆その他(各講座共通)

【募集人数】各講座30名

【場所】佐賀町民館

※第4講座のみ高知市を予定

【申込締切】各講座の2日前

【参加料】無料

※第4講座のみ実費負担あり

○お問い合わせ・申し込み先

佐賀町民館

☎55-2108(直通)

後期高齢者医療制度のお知らせ

保険料の納付について

後期高齢者医療の保険料は、原則として年金からの天引きとなっております。年金からすでに天引きされている方には、4月に保険料仮徴収通知を出させていただきました。

また、年金からの天引きの対象とならない方には、保険料の納付書を7月にお送りしています。

◆特別徴収(年金から天引き)の場合

年6回の年金の支給月に、保険料が天引きされます。手続きの必要はありません。ただし、年金からの天引きを口座振替に変更することもできます。

徴収時期(特別徴収)

※1	※2	※1	※2
4月(第1期)	6月(第2期)	8月(第3期)	10月(第4期)
2月(第6期)	12月(第5期)		

※1 仮徴収は、前年中の所得額が確定していないため、前々年中の所得額をもとに仮に算定された金額を3回に分けて納めていただきます。

※2 本徴収は、平成22年度に確定した保険料額から仮徴収額を差し引いた金額を3回に分けて納めていただきます。

資格の取得日によって特別徴収の開始時期は異なります。特別徴収が開始されるまでは、普通徴収で保険料を納めていただくこととなります。

○お問い合わせ

(後期高齢者医療制度担当) 本庁健康福祉課 国保係

☎43-2116(直通)

佐賀支所地域住民課

総合窓口第2係

☎55-3112(直通)

子犬の譲渡会

【開催日】

平成22年9月29日(水)

【場所】

中村小動物管理センター

(四万十市古津賀)

【受付】

◆子犬を譲りたい人

午前9時30分〜10時

※必ず事前に幡多保健所まで連絡し、当日は印鑑を持ってきてください。

◆子犬を飼いたい人

午前10時〜10時10分

※当日は、必ず印鑑と子犬を入れる箱を持ってきてください。

さい。

◆譲渡犬の決定

午前10時10分～10時20分  
(希望者が重複する場合は  
抽選となります。)

◆飼いはじめ講習会

午前10時20分～11時

◆子犬の譲り渡し

午前11時～

※譲渡できる子犬がいない場  
合は、譲渡会を中止にする  
ことがあります。

○お問い合わせ

幡多福祉保健所

☎34-5119

犬の散歩時

マナーは守っていますか?

◆飼い犬の散歩の際、フンは必ず持ち帰りましょう。

飼い犬のフンの始末は飼主  
の責任です。

公園や道路、道端などにフ  
ンがそのままにされていると、  
住民の方だけでなく、町外か  
ら来られた方にとっても気持  
ちのいいものではありません。  
あなたの心がけひとつで、  
きれいな町へと変わります。

◆散歩はリードをつけましょう。

他の犬との喧嘩・人に飛び  
つく・車道に飛び出してしまう・  
などしてしまう可能性はどん

な犬にもあります。

うちの犬は大丈夫とは思わ  
ずに、放し飼い・リードなし  
での散歩はやめましょう。

マナーを守って楽しいお散歩  
を♪

○お問い合わせ

本庁住民課 環境保全係

☎43-2800(直通)

佐賀支所地域住民課

総合窓口第1係

☎55-3113(直通)

【訂正】

『広報くろしお8月号』11ペー  
ジ「国民健康保険税について  
のお知らせ」の記事の中で(上か  
ら4段目・左から2行目)、軽  
減措置が2割、3割、7割ある  
というのは、2割、5割、7割  
の誤りでした。



相談

全国一斉「高齢者障がい者の  
人権あんしん相談」強化週間

高知地方事務局と高知県人  
権擁護委員連合会では、高齢  
者や障がい者の人権問題解消  
に向け、次のとおり電話相談の  
強化週間を実施します。期間  
中は、土・日曜日にも受け付けま  
す。また、平日は時間を延長し、  
午後7時まで受け付けます。

【実施期間】

9月6日(月)～12日(日)

【時間】

午前8時30分～午後7時

※土曜日・日曜日は午前10時～午後5時

【開設場所】

高知地方事務局人権擁護課  
(高知市小津町4-30)

【取扱内容】

介護者からの肉体的・心理  
的虐待あるいは家族などに  
よる経済的虐待、就職差別、  
暮らしの悩みことなど高齢者  
障がい者をめぐる人権問題  
【その他】相談は無料、秘密  
は厳守します。

○お問い合わせ

高知地方事務局人権擁護課

☎088-822-3503

行政書士無料相談会

遺言、相続、その他暮らし  
と官公署に関わる手続きにつ  
いて無料相談会を開催します。

【日時】10月2日(土)午前9  
時30分～午後2時

【会場】

四万十市中央公民館1階大会議室  
(四万十市右山五月町8-22)

【主催】高知県行政書士会幡多支部

○お問い合わせ

事務局担当 河野

☎090-3461-0535

全国一斉司法書士無料相談会

高知県司法書士会では、司  
法書士業務全般に関する相談  
会を開催します。(予約不要)

【日時】

10月7日(木)午前10時～午後3時

【会場】JA高知はた農協会館  
4階 第3会議室  
(四万十市右山五月町7-40)

【相談内容】不動産登記、商  
業・法人登記、供託、裁判  
所提出書類の作成、簡裁訴  
訟代理関係業務など

【主催】高知県司法書士会

【主唱】日本司法書士会連合会

○お問い合わせ

田中事務所

☎34-11193

日曜・遺言等公証法律相談

【日時】(毎月1回)  
9月12日(日)

午前9時～午後5時

【場所】中村公証役場  
(四万十市中村大橋通6-  
3-7 第一とらやビル4階)

【相談内容】

遺言、相続、金銭・不動産  
の貸借、離婚にともなう養  
育料・慰謝料・財産分与、  
高齢者の財産管理 など

【担当者】

高知地方事務局所属  
中村公証役場公証人  
中村公証役場

○ご予約・お問い合わせ

☎34-11728

※平日に事前に予約してくだ  
さい。



全国一斉「高齢者・障害者の  
人権あんしん相談」強化週間

労使紛争に関する「労働相談」および「あっせん」について「給料を一方的に減額された」「会社が有休を認めてくれない」「突然、解雇・雇止めされた」—このような問題でお困りではありませんか？

高知県労働委員会は、「労働相談」と「あっせん」で、こうした労使間トラブルの解決をお手伝いしています。

「労働相談」は、電話やメールでの相談に対し、事務局の職員が判例や法令などトータル解決に有効な情報をお伝えするものです。

「あっせん」では、公益・労働者・使用者の三者の委員で構成される、あっせん委員会が、中立の立場で労働者と使用者との話し合いを仲介します。

いずれも簡易迅速で無料、秘密は厳守されますので、気軽にお問い合わせください。

○お問い合わせ

高知県労働委員会事務局

☎088-821-4645

e-mail:240101@ken.pref.kochi.jp

HP http://www.pref.kochi.jp/soshiki/240101/

募集

障害者職業訓練生の募集

兵庫県伊丹市にある国立県

営 兵庫障害者職業能力開発

校では、平成22年度訓練生（4月入校生）を募集します。

詳しくは直接お問い合わせ

先またはお近くの公共職業安定所（ハローワーク）にご連絡ください。

【募集対象者】 身体障害者

【募集科目および募集定員】

◆1年制

●OAシステム科 20名

●グラフィックアート科 20名

●情報ビジネス科 20名

●インテリアCAD科 15名

◆6力月制

●オフィスワーク事務科 15名

【受付期間および選考日】

◆1年制

第1回

●受付期間 10月1日（金）～26日（火）

●選考日 11月10日（水）

第2回

●受付期間 12月6日（月）～1月18日（木）

●選考日 2月2日（水）

◆6力月制

第1回

●受付期間 10月1日（金）～26日（火）

●選考日 11月10日（水）

●受付期間 12月6日（月）～1月18日（火）

●選考日 2月2日（水）

○お問い合わせ

国立県営兵庫障害者職業訓練開発校

〒664-0845

兵庫県伊丹市東有岡4丁目8

☎072-782-3210

☎072-782-7081

〒787-0012

四万十市右山五月町3-12

中村地方合同庁舎

☎34-1155

8020達成者募集!

県では高知県歯科医師会の

協力のもと、8020運動（80歳で20本以上の歯を保ち、おいしく食べて健康づくり）事業の一環として、80歳以上で噛む事のできる自分の歯が多く残っている方を審査し、表彰する「高知県いい歯の表彰 熟年者の部」を実施しています。

参加を希望される方は、お近くの歯科診療所に連絡のうえ

歯科健診（無料）をお受けください。

【対象】

①平成22年11月8日（いい歯の日）に80歳以上になる県民

②20本以上噛むことのできる自分の歯（健全歯、処置歯、未処置歯は問わない）があること

【締め切り】 9月22日（水）

○お問い合わせ

幡多福祉保健所健康障害課

☎34-5120

職業人セミナー参加者募集

さまざまな分野で活躍されている方をお招きし、その仕事ならではの「楽しみ」や「苦労」話を聞かせていただきます。自立を目指す若者が、ざっくばらんに意見交換できる場です。

【日時】

9月8日（水）午後1時～3時

【日時】

9月8日（水）午後1時～3時

【場所】

高知黒潮若者サポートステーション

【対象者】 15歳以上40歳未満の自立を目指す若者

【講師】 路上詩人「はまじ」

こと浜崎一途さん

◆プロフィール

1983年土佐清水市生まれ、高知市在住。2004年、人との出逢いにより路上詩人活動開始。児童養護施設で育

った経験やさまざまな人との出逢いを経て、現在高知市の路上を中心に多方面で活躍中。

【費用】 無料

○お問い合わせ

高知黒潮若者サポートステーション事務局（入野1984-3）

☎43-2320

おしらせ

2010年APECにご理解とご協力を!

【APECとは】

「アジア太平洋経済協力」のことで、アジア太平洋地域における経済の持続可能な発展を図るため、平成元年に発足した非公式フォーラムです。

【開催期間】

本年11月に神奈川県横浜市でAPEC閣僚会議および首脳会議が開催されるほか、6月から11月にかけて全国各地で関連閣僚会議が開催されています。

【テロを防ぐために】

警察では、テロなど違法行為の未然防止のため、全国各地で多数の警察官による警戒

や検問などを実施します。

皆さんの普段の生活の中で、不審な人や車、荷物を発見した場合にすぐに110番するか、近くの警察署、駐在所などにお知らせください。

○お問い合わせ

中村警察署

☎ 34-0110

**中学校卒業程度認定試験**

平成22年度就学義務猶予免除者などの中学校卒業程度認定試験を次のとおり実施します。

◆この認定試験は

①病気などやむを得ない事由により保護者が義務教育諸学校に就学させる義務を猶予または免除された方で、平成23年3月31日までに満15歳以上になる方。

②保護者が就学させる義務の猶予または免除を受けず、かつ、平成23年3月31日までに満15歳に達する方で、その年度の終わりまでに中学校を卒業できないと見込まれることについて、やむを得ない事由があると文部科学大臣が認めた方。

③平成23年3月31日までに、

満16歳以上になる方。

④日本の国籍を有しない方で、平成23年3月31日までに満15歳以上になる方。

右記の方に対し、中学校卒業程度の学力があるかどうかを認定するために国が行う試験であり、合格した方には高等学校の入学資格が与えられるものです。

◆認定試験の内容

【試験科目】 国語、社会、数学、理科、外国語(英語)

【試験期日】 11月2日(火)

【試験場】 高知県教育センター分館(高知市大原町132)

【願書受付期間】

8月20日(金)～9月7日(火)

※消印有効(願書は受験者が直接文部科学省に提出します。)

○お問い合わせ

(願書取り寄せ、質問など) 高知県教育委員会事務局小中学校課  
☎ 088-821-4638

**地上デジタル放送受信のための支援のご案内**

総務省では、経済的な理由などで地上アナログ放送から地上デジタル放送に移行することが難しい世帯に対し、簡易なチューナー(1台)の無償

供給などの支援を実施しています。

【支援の対象】

対象は、生活保護世帯や、障がい者非課税世帯などのNHK放送受信料が全額免除となっている世帯です。

【支援の内容】

地上デジタル放送を受信するための「簡易なチューナー(1台)」の無償供給を行います。必要に応じたアンテナ改修など、共同受信施設やケーブルテレビの改修経費の支援を行います。

【支援の申込受付期間】

平成22年4月19日～平成22年12月28日(消印有効)

天候不順などの理由で支援が遅れることがあります。

支援を希望される方は受付期限にかかわらずお早めにお申込み下さい。平成23年度の支援については現在未定です。

○お問い合わせ

総務省地上デジタル支援実施センター  
☎ 0570-033840  
☎ 044-966-8719

※IP電話など、右記の電話番号がつかない場合は、

☎ 044-969-5425

(平日午前9時～午後9時、土日祝日午前9時～午後6時)

**米・米加工品を取り扱う事業者の皆さんへ**

(生産者・卸小売業者・飲食業者・宿泊業者・製造業者など)

米穀等の取引に係る情報の記録及び産地情報の伝達に関する法律(米トレーサビリティ法)が施行されます。

◆平成22年10月1日から米・米加工品の取引や廃棄などを行った場合は、その記録を作成し、原則3年間保存しなければなりません。対象となる品目は、米穀・米粉や米こうじなどの中間原料・米飯類・もち・だんご・米菓・清酒・単式蒸留

しょうちゅう・みりんです。

◆平成23年7月1日から一般消費者の方へ米・米加工品を販売・提供する場合は、産地伝達も必要になります。

米トレーサビリティとは何?

米などがどこから来て、どこへ行ったかを分かるようにするものです。

何のためにするの?

問題が発生した際に、①商品特定した回収、②問題の発生箇所の特定、③安全な流通ルートの確保などに効果があります。

何をすればいいの?

何を、いつ、どこから入荷し、何を、いつ、どこへ出荷したかを記録・保存します。

(伝票の保存や荷受情報の記載など)

○お問い合わせ

中国四国農政局高知農政事務所食糧部計画課  
☎ 088-875-2153

米トレーサビリティ法についての情報は、下記のホームページをご覧ください。

[http://www.naff.go.jp/j/soushoku/keikaku/kome\\_toresa/in dex.html](http://www.naff.go.jp/j/soushoku/keikaku/kome_toresa/in dex.html)





「君が踊る、夏」公開間近!

9月11日に全国公開されるこの映画は、よさこい祭りをメインテーマとして若者の夢を追う姿や家族愛などがちりばめられた、溝端淳平主演のラブストーリーです。高知市を始め越知町やいの町、芸西村などでの1カ月半に渡るロケによって、全編に高知の美しい自然や観光地、町並みが紹介されている上に、よさこい祭りの舞台裏や本祭の迫力など、高知県のすばらしさを全国に発信できるご当地映画となっています。

【キャスト】

溝端 淳平、木南 晴夏、五十嵐隼士、大森 絢音 他

知っていますか？ 建退共制度

建退共制度は、中小企業退職金共済法に基づき建設現場労働者の福祉の増進と建設業を営む中小企業の振興を目的として設立された退職金制度です。

この制度は、事業主の方々が、労働者の働いた日数に応じて掛金となる共済証紙を共済手帳に貼り、その労働者が建設業界で働くことをやめたときに建退共から退職金を支払うという、いわば業界全体での退職金制度です。

【加入できる事業主】

建設業を営む方

【対象となる労働者】

建設業の現場で働く方

【掛金】 日額310円

◆特徴

- 国の制度なので安全、確実に申し込み手続きは簡単です。
- 経営事項審査で加点評価の対象となります。
- 掛金の一部を国が助成します。
- 掛金は事業主負担となりますが、法人は損金、個人では必要経費として扱われ、税法上全額非課税となります。

● 事業主が変わっても退職金は企業間を通算して計算されます。

◆ 建退共から事業主の皆様へのお願ひ

● 共済証紙は、労働者の就労日数に応じて適正に貼付してください。

● 「建設業退職金共済手帳」を所持している労働者が、建設業界を引退するときは、忘れずに退職金を請求するよう指導してください。

検索



建退共

ホームページ「建退共」に、制度説明用動画、Q&Aなど建退共制度の知りたい情報が記載されています。ぜひ、アクセスしてご覧ください！

※詳しいことは、もよりの建退共支部へお問い合わせください。

○ お問い合わせ

建退共高知支部

(〒780-0870 高知市本町4-2-15 高知県建設会館内)

TEL 088-822-6181

FAX 088-823-5662

防衛省 平成22年度各種自衛官採用試験案内

募集種目	受付期間	1次試験期日	受験資格など	試験会場
自衛官候補生 (男・女) (任期制自衛官)	【男子】 受付中  【女子】 8月1日～9月10日	【男子】 ①9月19日(日) ②9月25日(土) ③10月2日(土) ※①～③のうち1日選択 【女子】 9月26日(日)	H23年4月1日現在で18歳以上27歳未満の方(学歴制限なし) ※任期満了時に特例退職手当があります。	新高知駐屯地
一般曹候補生 (非任期制自衛官)	8月1日～	【男女共通】 9月18日(土)	H23年4月1日現在で18歳以上27歳未満の方(学歴制限なし)	四万十市内
航空学生 (パイロット養成)	9月10日	【男女共通】 9月23日(木)	H23年4月1日現在で21歳未満の方 高卒(見込含)	高知市内
看護学生 (看護師養成)	9月6日～10月1日	【男女共通】 10月23日(土)	H23年4月1日現在で24歳未満の方 高卒(見込含)	高知市内

※防衛大学校の推薦試験の受付は9月6日～9日です。定型の申込用紙(学校長の推薦書など)がありますので事前にご連絡ください。 【お問い合わせ】 自衛隊四万十地域事務所 ☎0880-35-3096



教育委員会

だより

拳ノ川小学校

子どもたちに確かな  
学力と生きる力を

校長 文野 友喜

【はつめい】

黒潮町教育委員会より、昨年度から2年間の「学校運営協議会」の指定を受け、学校運営をより地域に開き、地域や保護者の皆さんとともに、学校教育目標である【「確かな学力」と「生きる力」を身につけ、生き生きと躍動する拳の子どもの育成】を目指し取り組みを進めています。

【校内研究の取り組みについて】

校内研究では、研究主題を「生き生きと取り組む、ともに学ぶ子どもを育てる」とし、全教員が授業公開を行っています。また積極的に外部講師を招聘し、教材研究並びに授業研究を行い、「聞くことを大切にしながら表現し合う授業づくり」を目指した取り組みを行っています。

◆授業スタンダードづくりと  
複式授業の研究

本年度も、日々の授業内容の充実と学力の定着を図る取り組みとして「反復と習熟」「予習」をキーワードに「拳ノ川小学校授業スタンダードづくり」を目指して日々の授業の改善に力を入れています。実際には、授業の初めに児童の側に立った「めあて」を書き、そのめあてに沿って授業内容を工夫し、授業の最後にはその日の学習内容が分かる「まとめ」を書くことを意識して日々の授業を組み立てています。また、来年度からの完全複式学級に備え、今年度は複式授業における指導方法等の研究も深めていくようにしています。何よりも日々の授業を大切にし、積み上げていくことが学力の定着を図ることにつながると考えて取り組んでいます。

【基礎学力タイムの  
取り組みについて】

基礎基本の確実な定着をめざし、基礎学力タイム（読書・計算・漢字）各10分間を校時表に位置づけて「継続は力なり」を合い言葉に取り組みを進めています。

◆計算タイム

基礎計算（四則計算）の習熟をねらいに、百マス計算や各学年の課題プリントなどを利用し、意欲化への評価や声かけの工夫をしながら継続的な取り組みを行っています。

◆漢字タイム

1日2〜3字の進度で各学年の新出漢字の学習をし、2学期後半から3学期にかけて、反復練習による習熟を図り、年度末に全新出漢字の定着率を検証しています。

◆読書タイム

読書は、全ての学力の基礎となるものです。本校では「毎日、集中して自分の好きな本を読む」ことをねらいに毎朝10分間の朝読書に取り組んでいます。また、家庭での20分

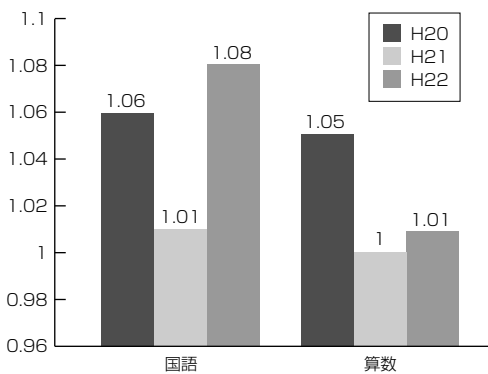


縦割り班長による読み聞かせ

間読書をPTAの取り組みとして2年前から行っています。更に、昨年度からは読書環境づくりの一環として、教員による読み聞かせや縦割り班毎に班長が中心になって行う読み聞かせにも取り組んでいます。その成果は、児童の図書利用度や読書量の増加にも見られています。

【学力検査の活用について】

左のグラフは、ここ3年間の学力標準検査の全校通過率（前年度全国平均正答率を1とみた時の本校の得点率）の結果です。今年度については、国語は全国平均を上回り、これまでの最高の全校通過率となっています。また、算数では全国平均をやや上回っています。



◆「ミニミニイノベーション活動」  
計画の段階から保護者や地域の方が参画し、拳ノ川小学校ならではの豊かな教育活動や体験活動の創造を目指し、

- ①自然・環境コミュニティ
  - ②健康・福祉コミュニティ
  - ③学び・文化コミュニティ
- の3つのコミュニティ委員会を組織し、地域の人材活用や教材化を図りながら年間を通して学校・地域・保護者が一体となって活動を行っています。



地域食材を使った味噌汁作り

**三浦小学校**

豊かさたくましさを持ち

活力のある児童の育成

校長 田邊 誠郎

**【はじめに】**

本校は1年生8人、2年生11人、3年生5人、4年生12人、つくし学級1人、5年生7人、6年生9人の児童数53人、6学級編制の学校です。

**【学校教育目標】**

人権尊重を基盤に、自ら学び豊かさたくましさを持つ子どもを育てる。  
 ※豊かな学力を持つ子ども  
 ※豊かな人間性のある子ども  
 ※たくましい心と体を持つ子ども

**【校内研究(こころ)】**

**研究主題**

●主体的な学習活動をめざして、よく聞き、よく考え、豊かに表現する力を育てる。

全国的に国語力に課題があることが報じられている。

本校でも学習の基礎である、聞く力・書く力・発表する力に取り組んできており児童朝礼での発表や学習発表会などでその成果も現れてきている。しかし、学力テストの結果から読む能力や書く能力に課題があることが判明してきている。

そこで、説明文を中心に国語力の向上に取り組むことが必要と考えられる。

算数科においては、数学的な考えや図形・数量関係などに課題も見られるが、基礎タ

イムやがんばりっ子「基礎学力定着の時間」での取り組みによりスキルの向上が見られる。

教科を中心しながら信頼しあえる生活集団や学びあう学習集団づくりも学級・学校経営の中で構築することが大切と考える。

**具体的な取組**

- 基礎学力の定着と学力の向上
- ①児童に分かる授業の工夫と改善を行っていく。
- ②支え励まし合える学習集団を育てる。
- ③家庭学習の充実と定着を図る。

家庭学習の手引きを活用

- 低学年30分以上
- 中学年45分以上
- 高学年60分以上
- を目標に努力していく。

①国語力の育成

読み取る力の育成  
 聞く力の育成  
 書く力の育成

発表「表現」する力の育成  
 以上の4項目について具体的な指導を行っていく。

②学習の到達目標を設定して指導を行う。

算数・国語定着8・9割を目標に徹底指導を行っていく。

③がんばりっこ基礎タイムの実施

朝読書を15分間実施し習慣化していく。

5校時前10分間算数の基礎スキルの実施で定着を図る。

④学力検査の分析と活用

**こころの教育**

- ①道徳教育の推進
- ②人権教育の推進
- ③読書の推進
- ④正しいことばづかいの推進
- ⑤生活集団づくりの推進
- ⑥特別支援教育の推進

**基本的な生活習慣の育成**

- ①すすんで返事・挨拶・お礼の推進
- ②心をこめて掃除や作業をおこなう。
- ③早ね・早起き・朝ごはんの推進

**豊かな体験活動と交流学習の推進**

- ①人・事・物・産業・文化などとの出会いやふれあい活動
- ②総合的な学習時間の活用

**【学力(こころ)】**

今年度の標準学力検査で算数はほぼ期待正答率(下段)に達成しているが、国語については課題が残っている。

	2年	3年	4年	5年
国語	88 81	77 75	61 71	67 68
算数	88 81	74 75	72 70	76 70

**【開かれた学校づくり】**

学校・家庭・地域社会がそれぞれの役割を果たしながら相互に連携し、地域ぐるみで子どもたちの教育に取り組むことを目的に、「三浦の子どもを育てる会」を設立し活動を行っています。

5月に総会を行い、3月にまとめの会を実施します。

12月に世代間交流(昔遊び・地域の食材を生かした料理など)を地域の方とともに進めます。

その他、月の1日は保護者が交通安全指導を行い、10日・20日は職員で行います。

地域の方々も協力してくれています。

この3日間は集団徒歩通学を行っており、全員がそろってから登校してきます。

また、児童会が中心になり月の5日と15日は2箇所でありさつ運動を行っています。

そして、学校に来ると職員室にあいさつをして学級へあがっています。

このようなさまざまな取り組みが地域を元気づけ、心豊かな児童に育っていく役割を担ってくれているのではないかと考えます。

9月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

佐賀図書館

9月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

大方図書館

(●の日は休館日です。)



10月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9

10月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9



絵本の読み聞かせに参加しませんか

図書館では、ボランティアの方の協力を頂き、下記のとおり絵本の読み聞かせを行っています。参加料は無料です。お子さまと一緒にぜひお越しください。

	大方図書館	佐賀図書館
日	毎月 第1・第2・第3日曜日	毎月 第1・第3金曜日
時	午前10:30~11:30	午前10:30~11:30

大方図書館・佐賀図書館

あたらしくはいた本のご紹介

- あんじゅう 宮部みゆき／著
- ゆめてんで 畠中 恵／著
- 小さいおうち 中島 京子／著
- 七人の敵がいる 加納 朋子／著
- 天海の秘宝 夢枕 獺／著
- ズルい言葉 酒井 順子／著
- 心の野球 桑田 真澄／著
- 手作りラー油&極うまレシピ 柳澤 英子／著
- NHKためしてガッテン 死なない生きかた 北折 一／著
- くっついた 三浦 太郎／著

http://akatsuki.com/kurushio.jp

佐賀図書館

☎43-0120

☎43-3190

◆お問い合わせ

大方図書館

◆開館時間

(大方図書館)

火～金

午前10時～午後6時

土・日

午前10時～午後5時

(佐賀図書館)

月～金

午前10時～午後6時

※午後1時～午後2時まで閉館

土

午前10時～午後5時

◆貸出冊数・期間

本

一人5冊・2週間

雑誌

一人3冊・2週間

ビデオ・CD・DVD

一人2点・1週間

◆新しい本の中には、貸出開始日から2カ月間は1週間の貸出期間となる場合もあります。

★借りた本やビデオなどを紛失や破損した場合は、弁償して頂く場合があります。

◆返却するとき

○佐賀・大方どちらの図書館でも返却ができます。

○休館日に返却する時は各図書館にあるブックポストに入れてください。

○ビデオ・CD・DVDはできるだけ開館時の受付窓口へ返却してください。



月	日		水道給水工事指定店 当番一覧表			
	自	至				
9	20~26	大方設備センター	拳ノ川住設	(有)西部総建		
	27~30	(株)中村住設大方営業所	道倉水道	山本建設(株)	(有)森田建設	
10	1~3	(株)中村住設大方営業所	道倉水道	山本建設(株)	(有)森田建設	
	4~10	前田電工	平野住設	(有)弘瀬建設		
	11~17	吉本水道	河野電機設備	(株)土居建設	谷口水道	

当番店の連絡先・所在地 ※当番日以外でも要請があった場合には対応いたします。

店名	電話番号		住所	店名	電話番号		住所
	事務所	自宅			事務所	自宅	
大方設備センター	43-1420	43-1483	入野769	拳ノ川住設	55-7371	55-7114	拳ノ川1781
河野電機設備	43-1022		入野2878	(有)西部総建	55-2825		伊与喜38-2
(株)中村住設大方営業所	43-0211	43-2061	出口372-2	谷口水道	55-2316		佐賀2773
平野住設	44-1513	44-1117	伊田2100	(株)土居建設	55-2133	55-2363	伊与喜43-5
前田電工	43-1149	43-1546	入野1574	(有)弘瀬建設	55-2121		佐賀1990
道倉水道	43-2096		浮鞭3558-8	(有)森田建設	55-3621	55-2420	藤縄5-1
吉本水道	43-2024		入野544-4	山本建設(株)	55-3141	55-2076	佐賀2988

○お問い合わせ/本庁 まちづくり課 水道係 ☎43-2114(直通)

9月の納税

- 固定資産税 …… 第3期
- 国保税・介護保険料 …… 第3期
- 後期高齢者保険料 …… 第3期

安心・便利な口座振替をご利用ください。

●お問い合わせ  
本庁 税務課  
☎ 43-2816



だいご 藤原 大悟くん  
〈平成20年10月13日生まれ〉  
お姉ちゃんと仲良く元気に大きくなってね。



かい 米津 圭威くん  
〈平成20年11月6日生まれ〉  
優しいお兄ちゃんになってください。



こいね 植田 心音ちゃん  
〈平成20年8月16日生まれ〉  
元気に優しく育ってネ。



こうは 倉松 皇羽くん  
〈平成20年11月18日生まれ〉  
いっぱいごはんを食べて大きくなってください。



ことは 中田 香瞳羽くん  
〈平成20年9月5日生まれ〉  
姉妹仲良く、元気いっぱい大きくなってね。



れおん 喜多 礼恩くん  
〈平成20年9月3日生まれ〉  
パとママの宝物♥

町内在住の子どもたちを、お家の方からのメッセージといっしょに紹介します。

くろしおっ子を紹介します！



地域子育て支援センター通信

日中はまだ暑いですが、朝夕はしのぎやすくなりました。夏の疲れが出る時期です。生活リズムを整えて、体調を崩さないよう気を付けましょう。また、9月は子育て支援アドバイザーの方に来ていただいて、子育て学習会を行います。たくさんの方の参加を待ちしています。

9月の予定

- ◆ おでかけ広場  
(午前9時30分～11時30分)
- 7日(火) ふれあい遊び
- 21日(火) 作って遊ぼう  
場所/佐賀保育所一時保育室
- ◆ いっしょに遊ぼう  
(午前9時30分～11時30分)
- 1日(水) リズム水遊び
- 8日(水) ふれあい遊び
- 15日(水) 月見だんご作り
- 22日(水) 作って遊ぼう
- 29日(水) 園庭で遊ぼう  
場所/子育て支援センター

子育て学習会のお知らせ

- ◆ 第1回 大方地区  
日時/9月3日(金) 午前10時～正午  
場所/子育て支援センター

第2回 佐賀地区

- ◆ 第2回 佐賀地区  
日時/9月10日(金) 午前10時～正午  
場所/総合センター2階大ホール  
内容/(2回とも同じです。)  
講話「乳幼児の心と身体の発達」  
実技「親子のふれあいスキンシップ」  
個別相談

○お問い合わせ

地域子育て支援センター  
(大方中央保育所内)  
☎ 43-0512(直通)

最新救急車が寄贈されました

8月6日、全国共済農業協同組合連合会 高知県本部から幡多中央消防組合 黒潮消防署に救急車が寄贈されました。「日本で一番安心・安全な地域になるよう役立ててほしい」と和田 章 高知県本部長があいさつ。関係者ら6名がテープカットをしました。



和田本部長から大西町長に目録が手渡されました。

地区別懇談会が始まりました

住民との対話から行政に対する要望をつかむことを目的に、地区別懇談会を開催しています。7月29日の鈴地区を皮切りに、今後約1年間かけ、59箇所で開催します。このコーナーでは、月間の開催予定をお知らせしていきますので、皆さんの積極的な参加をお願いします。

9月の予定

- 22日(水) 川奥
- 28日(火) 馬荷
- 30日(木) 荷稻

※予定は変更する場合がありますので、開催については、事前にご案内します。  
※会場は各集会所、時間はいずれも午後7時～9時となっています。



鈴地区懇談会の様子。住民18人が参加、活発な質疑が行われました。(鈴研修施設にて)